

剣道八段審査会（愛知）要項

全日本剣道連盟

1. 期 日

- (1) 令和8年8月8日（土）・9日（日）
第一次実技審査・第二次実技審査・日本剣道形審査
- (2) 第一次実技審査受付開始・終了および審査開始時刻
2日間とも、次による。

[午前の部]

受付時間 午前9時～午前9時30分まで

審査開始 午前10時（予定）

[午後の部]

受付時間 午前11時30分～12時まで

審査開始 午前の部第一次実技審査終了後

※ なお、審査は2日に分けて行うため、1日目と2日目の午前の部・午後の部の受付年齢は、申込締切後、各都道府県剣道連盟に通知するとともに、全剣連ホームページ(<https://www.kendo.or.jp/>)に掲載いたします。

※本審査会につきましては、高齢の方より受審していただくことになりましたので、受付時間・年齢を確認のうえ、間違いのないようご参加ください。

※受付終了後は、審査の進行上、一切受け付けません。必ず時間を厳守してください。
また、午前・午後の受審者は入替えて入館しますので、受付時間に合わせて来場してください。

2. 会 場

名古屋市枇杷島スポーツセンター

（愛知県名古屋市西区枇杷島 1-1-2） 電話 052-532-4121

※別紙案内図参照

3. 主 催

公益財団法人 全日本剣道連盟

4. 審査方法

全日本剣道連盟 剣道称号・段級位審査規則、同細則ならびに剣道称号・段位審査実施要領による。

5. 審査科目

2日間とも、次による。

- (1) 第一次実技
- (2) 第二次実技（第一次実技審査合格者による）
※実技審査においては面マスクまたはシールドを着用してください。
- (3) 日本剣道形（第二次実技審査合格者による）
※日本剣道形審査において使用する木刀は全剣連で準備します。

6. 受審資格

- ① 平成28年8月31日以前に七段を取得し、年齢満46歳以上で修業年限10年以上の者。
- ② **令和3年8月31日以前に七段を取得し、年齢満65歳以上で修業年限5年以上経過し、加盟団体会長が許可した者。**

7. 年齢基準

審査日の当日（1日目は令和8年8月8日、2日目は令和8年8月9日）とする。

8. 申 込 み

- (1) 申込方法 受審を希望する者は、1日目（8月8日）、2日目（8月9日）のどちらかの受審希望日を選択し、登録連盟を通じて申込むこと。
各都道府県剣道連盟会長は、申込者を一括して本連盟会長宛に送付すること。なお、個人直接の申込は受理しない。
※各都道府県剣道連盟内において、受審希望日に大きな差異が生じる場合には、事前に各剣連内で人員調整を行うこともあり、この場合はご協力をお願いします。
- (2) 申込締切 各市区郡剣道連盟、加盟団体が決めた日
- (3) 申 込 先 各市郡区剣道連盟・加盟団体事務局

- (4) 申込書 ア 所定の用紙による。
イ 七段位の取得年月日、生年月日は正確に記入すること。
(記載のない場合また虚偽の場合は受審を認めない)

9. 審査料

受審者は、審査料を（含む消費税）1名につき八段 12,800 円を受審者各自で以下の口座に振り込むこと。振込手数料は受審者にてご負担願います。

ゆうちょ銀行

【店名】 八一八（読み ハチイチハチ） 【店番】 818

【預金種目】 普通預金

【口座番号】 3789728

【口座名】 ザイ) ミヤギケンケンドウレンメイ

10. 合格発表

審査終了後、受審番号により合格者を発表する。後日、合格者決定通知と証書を合格者の各都道府県剣道連盟に送付するとともに全剣連月刊「剣窓」および全剣連ホームページ(<https://www.kendo.or.jp/>)に合格者の氏名を掲載する。

11. 安全管理

参加者は、各自十分健康管理に留意し参加すること。また、参加者は、健康保険証を持参のこと。高齢の参加者については、特に留意のこと。

主催者において、行事実施中、傷害発生の場合は、医師または看護師により応急処置を講じ、病院等で治療を受けられるよう手配する。この場合、当日の治療費（手術、入院費は含まない）は主催者が負担する。AEDを常備する。また、医師等により、脳しんとうの可能性や生命の危険性を否定できない症状と判定された場合は、直ちに審査への参加を中止とする。

なお、主催者は、参加者の事故に対し（審査会場への往復途上を含む）、傷害保険に加入する。

全日本剣道連盟の「感染症予防ガイドライン」を遵守すること。（全剣連ホームページ参照）

12. 個人情報保護法への対応

※以下を周知してください。

参加者の個人情報（登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等）は全日本剣道連盟および地方代表団体（各都道府県剣道連盟）が行事運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせた公表媒体（掲示用紙、ホームページ、剣窓等）に公表することがある。更に、普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

(1) 全剣連および報道機関等が撮影した写真が、新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ等で公開されることがある。

(2) 全剣連および報道機関等が撮影した映像が、中継・録画放映およびインターネットによる配信で公開されることがある。

(3) 全剣連の許可を受けた者によって、撮影された写真および映像が販売されることがある。

13. 注意事項

(1) 受審者は、各都道府県剣道連盟に、本人の申込み受理の確認を審査会前日までにに行い、参加すること。

(2) 審査会場に、車での来場は一切禁止とする。

(3) 先細など軽い竹刀は、使用しないこと。

(4) 日本剣道形審査に不合格となった受審者は、再受審が認められる。

ただし、当日日本剣道形を受審しない者の再受審は認めない。

なお、本審査日より1年経過後は、再受審は無効となるので、留意すること。

※ 本審査会の入場は、受審者を優先とし、見学者（付添・家族含む）につきましては、会場の収容人数により入場者数を制限した事前登録制（全剣連ホームページに案内掲載）といたします。ただし、申込多数の場合は先着順といたしますので、ご了承願います。

名古屋市枇杷島スポーツセンター 会場案内図

住所 〒451-0053

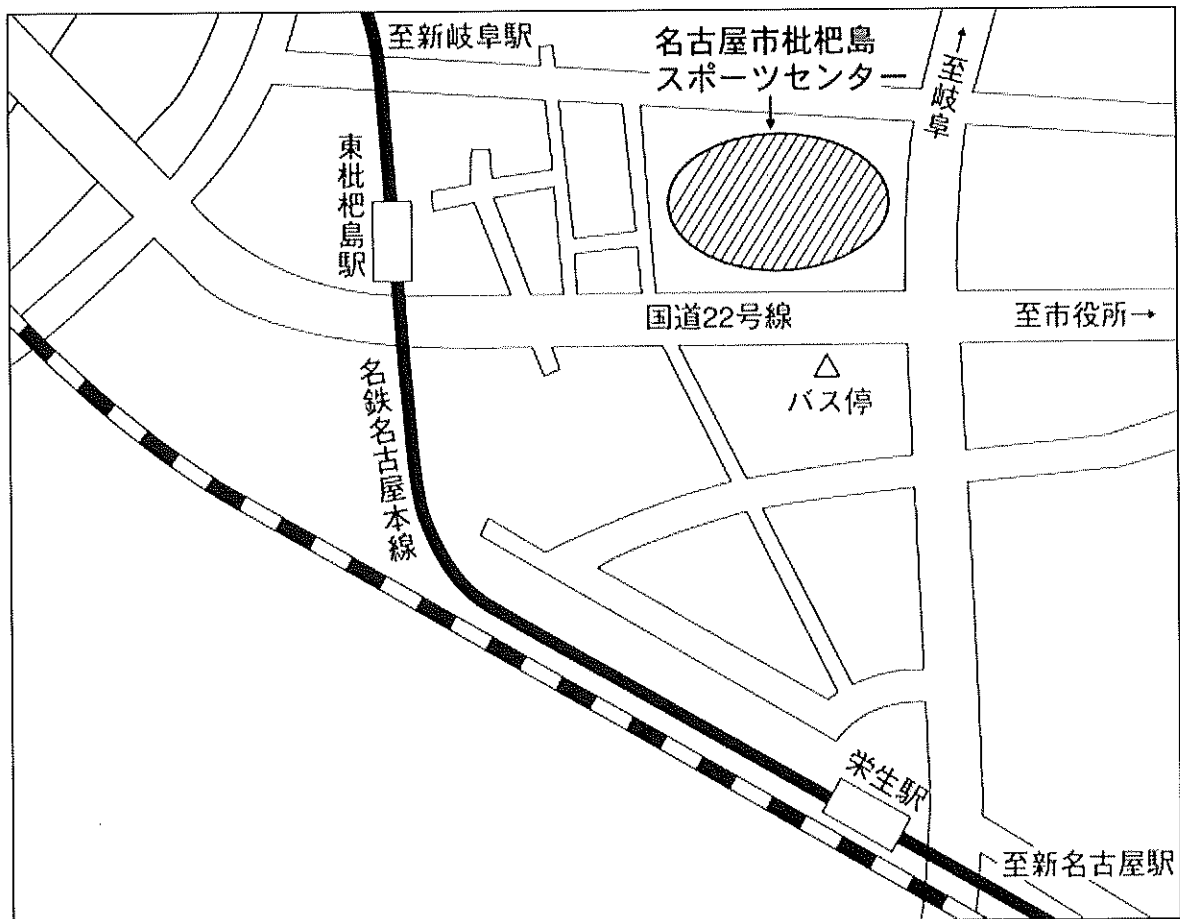
愛知県名古屋市西区枇杷島 1-1-2

*下記案内図参照

電話 052-532-4121

交通 ●名鉄 名古屋本線 「東枇杷島駅」下車 徒歩約5分
名古屋本線 「栄生駅」下車 徒歩約10分
●市バス 各駅11系統 名古屋駅←→名古屋駅
各駅26系統 名古屋→(押切)→平田住宅
各駅29 名古屋駅←→名古屋駅
栄27(西巡回) 栄←→栄
いずれも「枇杷島スポーツセンター」下車 すぐ

交通案内図



※なお、会場の駐車台数が少ないことと、付近の違法駐車による苦情のことから車の利用はご遠慮ください。

大会等におけるビデオ撮影等について

全剣連が主催する大会、審査会、講習会及びその他の行事（以下「大会等」という。）における写真・動画の撮影及び音声の録音（以下「ビデオ撮影等」という。）並びに撮影した映像及び録音した音声（以下「撮影映像等」という。）の取扱いについては、次のとおりとするほか、各大会等の開催要項で定めるところに従うこと。

- 1 大会等の会場において、以下の条項に従って個人利用の目的でビデオ撮影等を行うことは差支えないが、営利目的又は不特定多数の者に公開若しくは頒布する目的で、これを行うことは禁止する。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。
- 2 大会等の会場におけるビデオ撮影等は、これを禁止されていない場所で、大会等の運営を妨げないような機材、方法によることとし、他人に迷惑を及ぼさないよう配慮すること。
- 3 大会等の会場における撮影映像等及びこれらのデータについては、有償、無償にかかわらずこれを不特定多数の者に頒布したり、又はインターネット上やその他の方法でこれを公開して拡散させたりしないこと。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。

以上

申請日： 令和 年 月 日

宮城県剣道連盟会長 殿

称号・段位審査申請書(中央審査用)

市(区) 郡 剣道連盟会長

印

受審称号段位	士	段	全剣連番号			
六七八段 受審者	審査会場		受審希望日 (○で囲む)	1日目・2日目・いずれも可		
ふりがな				ふりがな		性別
氏名				旧姓		男・女
生年月日	昭和・平成 年 月 日 (歳)					
現住所	〒 -					
電話番号	自宅	-				
	携帯電話	-				
職業 (○で囲む)	01 生徒	02 学生(専・大)	03 警察官	04 自衛官		
	05 教員	06 公務員	07 会社員	08 自営業		
	09 団体職員	10 主婦	11 その他	12 無職		
	13 刑務官	14 医師	15 教員大学	16 教員高校		
	17 教員中学	18 看護師	国家公務員	地方公務員		
講習会受講歴	(称号受審者は記入)					
所属連盟	市(区)郡剣道連盟					
現在の称号	士	取得年月日	昭・平・令 年 月 日	登録時都道府県名	受審場所	
現在の段位	段	取得年月日	昭・平・令 年 月 日			

- 注意事項
- ◎楷書で正確に記入すること。
 - ◎受審資格を確認し、所属連盟を経由(承認)の上提出すること。
 - ◎受審者は既取得段位証書の写し(A4に縮小)を必ず添付すること。
 - ◎「全剣連番号」(現段位証書の左下に記載されている番号)を必ず記入すること。但し、証書に全剣連番号が記載されていない場合は空欄でよい。
 - ◎称号受審者は講習会受講歴を記入すること。(全剣連又は宮剣連が行った講習会直近の受講歴を3つ以内記入)